

238号の
主な記事

- 第1回定例会概要.....1ページ
- 議案、請願・陳情の処理状況.....2ページ
- 代表質問、一般質問.....3～5ページ
- 予算特別委員会の概要.....6～8ページ

令和2年第1回定例会日程

2月17日	委員会報告及び表決、議案上程、委員会付託
19日	委員会報告及び表決、代表質問、一般質問
20日	議案上程、委員会付託、一般質問
25・26・28日	}予算審査
3月2・3・5・6・10日	
11日	議案審査
12日	請願・陳情等の審査
25日	委員会報告及び表決

令和2年第1回定例会

令和2年度各会計予算案を可決

補正予算を含む54議案を可決

令和2年第1回定例会は2月17日から3月25日までの38日間の会期で開かれました。新型コロナウイルスに関する一括審査の実施や定期的な換気等、感染拡大抑制に配慮した開催となりました。

この定例会には区長から、令和2年度各会計予算案を含む53件の議案、同意1件、報告3件が提出されました。各会計予算案については、予算特別委員会を設置し、今後の区政方針や諸施策などについて詳細に審査を行いました。

これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

この定例会の会議録は、6月頃にできあがります。



新川の桜

詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。

江戸川区議会新型コロナウイルス感染症対策本部の設置について



新型コロナウイルスの区内感染症患者の発生確認(3月19日午後8時30分)に伴い、江戸川区議会は、同時刻に「江戸川区議会新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置しました。

令和2年第1回臨時会開催予定

5月25日(月) 本会議

令和2年第2回定例会開催予定

6月22日(月) 本会議(議案上程、委員会付託)
24日(水) 本会議(一般質問)
25日(木) 本会議(一般質問)
26日(金) 常任委員会(議案審査)
29日(月) 各常任委員会(請願・陳情等の審査)
7月7日(火) 本会議(委員会報告及び表決)

※ 本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。

※ 傍聴は、本会議は開会日当日の正午以降、各委員会は開会日当日の午前8時30分以降に区役所西棟3階の区議会事務局で先着順に受付しています。なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、共産…日本共産党、江…区議会江戸川クラブ、区民…えどがわ区民の会、生ネ…生活者ネットワーク、立憲…立憲クラブ、無所属…会派に属していない議員を左から50音順に表記しています(議長を除く 計43人)

議案等の概要と結果 (○…賛成、×…反対)

Table with columns: 件名, 概要, 自民, 公明, 共産, 江, 区, 生, 立, 無所属, 賛成, 反対, 結果. Includes sections for 区長提出議案, 予算, 条例(新規), 条例(一部改正), 同意, 契約, その他, 報告.

※1 立憲民主党は1月23日付けで立憲クラブと無所属に分かれました。

皆さんから出された請願・陳情

Table with 2 columns: 新たに受理されたもの, 付託委員会. Lists items 31-33 and their assigned committees.

Table with columns: 今回の定例会で結果が出された請願・陳情, 自民, 公明, 共産, 江, 区, 生, 立, 無所属, 賛成, 反対, 結果. Lists items 8, 11, 13, 23.

※2 不採択に賛成…○、反対…×

※3 趣旨採択…議案としては、願意について十分理解できるものの、当分の間は願意どおりの実現は困難であるため「趣旨には賛成である」という意味の議決です。

区政への質問

2月19日、20日に代表質問及び一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な議論が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。
※質問と答弁の内容につきましては、令和2年2月19日、20日現在のものです。

QRコードから各質問者の質問映像をご覧になれます。

代表質問

都立篠崎公園の高台化推進！ラグビー競技施設の整備を！



自由民主党
大西 洋平



問 令和2年度予算編成について。

- ① 斉藤区長新体制における初の予算編成に当たり、どのような課題認識のもと臨んだのか。
- ② 区民の皆様へどのようなメッセージが込められているのか。

答 ① 健全財政を堅持しつつ、計画性、持続性のある行財政運営を目指した。

② 誰もが安心して自分らしく暮らせるまちを目指し、共生社会の実現に全力で取り組む。

問 児童相談所について。

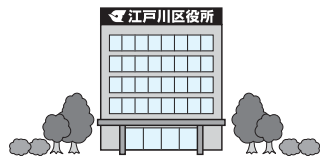
① どのような万全な体制を整えてきたのか。

② 子どもたちの命を守る決意について。

答 ① 職員派遣や研修等を重ね、現在150人体制を整えている。また、児童相談所設置市が行う16業務について全庁をあげて整えた。児童虐待が起こらない地域社会に向け、成長支援事業等の活性化も行ってきた。

② 区職員はもとより、議員、区民の皆様と地域をあげて子どもたちを守っていききたい。

問 新庁舎の具体的な配置プランを確立し、都へ用地交渉について強い働きかけを行い、新庁舎建設を推進していくべきと考えるが。



新庁舎建設について

答 庁舎を北側に配置する計画が望ましいと考える。この計画案を基本構想に位置づけ、新庁舎建設の基本計画あるいは再開発事業計画の作成、用地取得も含め前進していきたい。

問 安全・安心なまちづくりの推進について。

① 都立篠崎公園の高台化について。

② 河川の水位観察ができるカメラの設置を。

③ 区道街路灯LED化の推進について。

答 ① 重要な事業であり、あらゆる機会を捉えて都へ強く働きかけていきたい。

② 都に要望している。その整備状況を見ながら河川監視システムの導入を検討していく。

③ 区内産業支援の観点からも順次進めていく。

問 新潟県南魚沼市との友好都市盟約締結に向けた進捗状況について。

答 災害時の相互協力も含め、盟約締結を視野に入れた話し合いを進めていく。皆様の意向を確認しながら積極的に進めていきたい。

問 ラグビー競技を実施できるスポーツ施設の整備について、区長の考えは。

答 地域スポーツや地域コミュニティを活性化させ、オリンピック・パラリンピックを盛り上げていけるようなラグビー場を作りたい。

今後の区政運営及び文化・eスポーツの振興について



公明党
竹内 すすむ



問 今後の区政運営にどのような将来展望を描きながら今回の予算編成に当たったのか。

答 SDGsの掲げる「誰一人取り残さない」という理念のもと事業を展開していきたい。「誰もが安心して自分らしく暮らせるまち」、「共生社会の実現」に向かっていく。

問 今後の災害対策について。

① 台風19号に伴う防災対策の検証について。

② 避難所補完施設の体制強化について。

③ 災害時の避難所の情報共有について。

④ 防災意識の更なる向上について。

答 ① 指定管理者等からも意見を伺い、庁内をあげて検証作業を進めている。

② 位置づけや体制をしっかりと考えていきたい。

③ 地域限定の独自の通信網を利用し、迅速かつ確かな情報連絡体制の構築を進めていく。

④ 小学校4年生を対象にしたハザードマップを活用した授業を全校で実施し、区全体の裾野を広げていきたい。

問 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功とレガシーの構築について。

答 本区が誇る地域力を結集し大会を成功に導き、大会後はレガシーを構築していきたい。

問 塩沢江戸川荘の温泉施設建設と新潟県南魚沼市との友好都市盟約について。

答 検討している。温泉宅配が有望であり、別棟を建設したい。令和6年度中の開設を目指す。盟約は早い時期に締結したい。

問 今後の文化・芸術振興について。

① 区内の美術館やアートミュージアムを区が積極的に紹介し、共同展示会を開催しては。

② 文化賞・文化功績賞・文化奨励賞の受賞者の作品による合同作品展示会を開催しては。

答 ① 区全体を歩ける美術館とし、ウェブでも情報発信を行い、更なる振興に努めていく。

② 合同作品展の開催も含め、紹介方法について検討していきたい。

問 eスポーツの振興について、区長の考えは。

eスポーツの振興について



答 今年7月に「えどがわeスポーツ甲子園」を企画している。今後も具体策を研究していく。

国保料引き下げ、墨東病院直営、学童補食実施を



日本共産党
小俣 のり子



問 医療問題について。

① 国・都の医療制度の方針について。

1) 厚生労働省の一方的な基準による再編・統合を目指す病院名の公表をどう考えるか。

2) 都立病院・公社病院の役割の認識について。

3) 都直営を求める意見表明と都への要請を。

② 国民健康保険制度について。

1) 構造的課題をどのように認識しているか。

2) 国保の保険料が高いという認識はあるか。

3) 23区で最も高い年額5万5千3百円の子どもの均等割保険料の負担軽減を。

答 ① 1) 地域に必要な医療提供体制を議論するためと認識している。

2) 高度で専門的な医療を行う地域の中核病院。地域と連携し地域医療を推進する。

3) 東京都の病院経営の問題。区民への影響がある場合は、区として意見する。

② 1) 医療保険制度の一本化を訴えているが、根底は国民皆保険を守っていくことである。

2) 医療費が上昇していく中で保険料も上がっていくのは構造的に止められない。

3) 特別区長会として国に財源を要望している。

問 児童相談所職員の専門性と人材育成。

① 専門性を高める研修について。

1) 児童福祉司の法定研修の実情は。

2) 児童福祉司の区独自の人材育成計画は。

3) 児童心理司と子どもに直接かかわる児童指導員・保育士の人材育成計画について。

② 人事異動と任期付き職員の雇用継続は。

答 ① 子ども家庭支援センター職員全員が任用前研修を終えている。より研修の充実を目指す。

② 家庭全体の課題対応のため、人事異動を行う。任期付き職員の期間は制度上のルール。

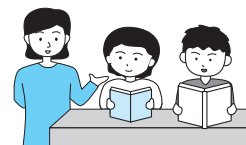
問 すくすくスクール学童登録の充実を。

① 学童クラブ登録における本区だけ実施していない保育時間延長と補食の実施を急ぐこと。

② 正規指導員を採用し、全校に配置実施を。

答 ① 夕方の時間延長は検討を行っている。補食は保護者の持込みを引き続き実施していく。

② 総合的に考えて必要であれば確保していく。



すくすくスクール学童クラブ登録について

区の基本理念と区民の安全・安心を問う



江戸川クラブ
中津川 まさあき



問 区長就任以来、獅子奮迅の勢いで職責を果たすべく汗を流してこられた。この1年を振り返り自己採点するとすれば何点になるか。

答 区民の皆様、議員の皆様にも評価していただくべきと考える。賛否の声を真摯に受け止め、より良い区政を目指していきたい。

問 区民憲章の制定是非について。

① 本区において、過去に区民憲章の制定に関する検討・協議を行ったことはあったのか。

② 区民憲章の制定について、区長の考えは。

答 ① 過去にも同様の質問をいただいており、その都度検討してきた。

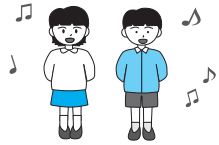
② 今の長期計画があと2年で期間満了となるため、その次の方向性を示す際に選択肢の中に入れていきたい。

問 江戸川区歌について。

① 区歌の定着度と今後の取り組みについて。

② 4 番の歌詞の今後の取り扱いについて。

答 ①学校行事や音楽の授業だけでなく、登校時間等に流している学校もある。引き続き区歌の指導をしっかりと行っていきたい。
②オリンピック・パラリンピックとともに終了というのが自然の流れである。大変良い歌詞であるため、記録にはしっかり残していく。



江戸川区歌について

歩行喫煙に対する罰則規定とポイ捨ても含めた今後の対応について。

答 環境を良くする運動等、地域と協力しての啓発活動を行っており、駅頭の実態調査では歩行喫煙者が半減している。引き続きマナー・モラルの向上に取り組んでいく。

自転車の交通安全対策について。

答 ①本区において自転車保険の加入を促進するための啓発活動はこれまで実施してきたのか。
②自転車保険加入義務化に伴う本区の対応は。
答 ①多くの世代の方にアプローチする啓発活動を行ってきた。
②区の新たな保険制度の周知を含め、保険加入を更に促進していきたい。

一般質問

見えないけれども今正しく恐れ解決するため



自由民主党 野崎 まこと



SDGs を踏まえた区政経営について。

答 ①SDGs の導入に踏み切った理由と目的は。
②現状の取り組みを評価し、今後それぞれの事業について目標設定を明確にすべきでは。
③SDGs 活動企業支援融資の融資条件は。
答 ①1300 の事務事業を 17 のゴールに分類し関連性や事業展開を整理している。
②2030 年に向けた SDGs の目標を活用していく。
③区の基準は設けるが SDGs の達成に取り組む事業者で、限度額は 2,500 万円、初年度は 10 件 8,000 万円を計上している。

答 ①1300 の事務事業を 17 のゴールに分類し関連性や事業展開を整理している。
②2030 年に向けた SDGs の目標を活用していく。
③区の基準は設けるが SDGs の達成に取り組む事業者で、限度額は 2,500 万円、初年度は 10 件 8,000 万円を計上している。

新型コロナウイルス対策と感染症について。

答 ①区における感染症対策の現状と今後について。
②広げない・重症化させない取り組みについて。
答 ①対策本部を立ち上げ、相談や情報発信を行ってきた。不安解消に努めていきたい。
②フェーズに合わせた対応を行っていく。

台風直撃を受けて今後の対策・対応は。

答 ①台風 19 号における避難勧告までの経緯は。
②5G による同時オンラインモニター会議を。
③消防団の各分団に翻訳機の配備と助成強化を。
④区の施設に災害時用逆浸透膜浄水器の設置を。
⑤施設等のリスクマネジメントについて。

答 ①荒川上流域に平均雨量が 500 ミリを超える可能性があるという情報を受け、避難勧告を発令した。
②区内の警察署・消防署、また自衛隊が本部会議に同席した。5G により同様の会議が開催できるのであれば、検討していきたい。

③支給している補助金の中で整備願いたい。
④研究課題としたい。
⑤特別区有物件火災共済に入っている。

オリンピック・パラリンピック大会の成功に向けた区の取り組みについて。

答 ①大会期間中に区が実施する関連イベントと変更される事業について。
②区内ボランティアの方々の協力について。
答 ①大会を盛り上げ、記憶に残るイベントを実施していきたい。花火大会や防災訓練は、警備上の都合から日程を変更する。
②保護者や地域の方々の力を借りて子どもたちの心に残る大会にしたい。

盆栽美術館とのコラボで区の更なる魅力発信を!



公明党 所 たかひろ



答 東京都受動喫煙防止条例の施行に向けた対応は。また、条例を実行性のあるものにしていくための体制・取り組みは。

答 基準を満たす区立施設の喫煙室は残していく。穂高荘と塩沢江戸川荘は客室の禁煙化を行っていく。区内事業所へは説明会等での周知やコールセンターの開設、アドバイザーの派遣を行っている。主要駅周辺に屋外喫煙所を整備し、「受動喫煙防止重点区域」に指定するとともに啓発員を配置し、喫煙所へ案内する。飲食店へは巡回により周知徹底を図る。

子ども・若者の自殺対策について。

答 ①「SOS の出し方教育」について。
②「インターネット・ゲートキーパー事業」での相談支援体制について。

答 ①SOS の出し方教育を更に充実させる。
②原則 24 時間以内に相談を開始する。必要があれば訪問等も行い警察とも連携していく。

本区において情報漏洩の防止策の強化をどのように図っていくのか。

答 データ消去の履行の確認をしっかりと行う。今後は国や都の動向を注視しながら対応する。

コミュニティ交通実施方針検討について、具体的な取り組みは。自律走行バスの導入も視野に入れ、調査・研究すべきと考えるが。

答 来年度は区域の選定、実施計画・収支計画を作成し、モデル地域への導入手段の検討をしていく。自律走行バスは、さまざまな自治体の検証結果を見て検討していく。

より良い職場環境づくりを目指す上でも、通年でのノーネクタイの実施を検討してみたい。

答 区民の皆さんに理解を得られる環境になれば導入していきたい。

BONSAI 美術館とのコラボレーションで新たな賑わいづくりや区の魅力発信を推進することについて、区長の考えは。

答 提案を視野に入れつつ、多くの方が訪れたい江戸川区を目指す。

ジェンダー平等、防災ラジオ普及、羽田新ルート中止



日本共産党 牧野 けんじ



ジェンダー平等の実現について。

答 ①ジェンダー平等についての認識は。

答 ②区の幹部職員や審議会などの女性比率は。
③人権・男女共同参画の専担課設置を。また、男女共同参画推進区民会議を常設に。
④選択的夫婦別姓、同性婚について。

答 ①性別によって個人の生き方を制約する部分があれば解決しなければならない。
②審議会は 23.2%、管理職は 18.0% で増加している。

答 ③人権・男女共同参画推進センターを設置する。推進区民会議は必要に応じて開催する。

答 ④状況は変わってきており、今後の動向を注視していきたい。同性婚については、国は検討段階に至っていないと認識している。

防災対策について。

答 ①緊急時に自動起動する防災ラジオの普及を。
②区内各河川の情報、ポンプ場や水門など河川関係施設の役割等の周知を。

答 ③水害ハザードマップの課題について。
④スーパー堤防事業と区画整理事業を一体で施行するあり方は取りやめるべき。

答 ①有益と考えるが個別支援の考えはない。
②これまで同様に周知と防災意識向上に努める。
③正しく知ってもらうことに力を入れたい。
④取りやめる考えはない。

羽田空港国際線増便新ルート案について。

答 ①都心ルートの降下角の危険性など実機飛行での新たな課題について。

答 ②国に説明会の開催を求め、3月からの新ルート実施は延期を求めると考えるが。

答 ③騒音や落下物の不安がある羽田新ルートは中止を求めると考えるが。

答 ①都心ルートの降下角については適切に運用されていると考えている。

答 ②説明会の開催は要請していくが、運用開始の延期を求めると考えるが。

答 ③中止を求めると考えるが、騒音低減、落下物対策、住民への説明は引き続き求めていく。

時代にあった子育て・教育支援、現役ママ目線で



江戸川クラブ 小林 あすか



答 学校と保護者とのやり取りについて、ICT を活用し、より安全で確実かつ両者ともに効率化できるオンラインでのやり取りができる環境を早急に望むが、教育長の考えは。

答 子どもの健康状態や体調に関わることであり、保護者との確実な意思確認が必要である。印鑑、サイン、ICT はどれも一長一短であり、ICT は確かに便利ではあるが、確実とは言い切れない。確実で効率的な方法を研究していきたい。

東京都子育て支援対策について。

答 ①待機児童解消策としてベビーシッター利用支援事業の導入を望むが、区長の考えは。

答 ②多胎児家庭への支援事業導入に対する区の考えは。また、多胎児家庭に対しニーズ調査を行うべきと考えるが。

答 ③有益だと考えている。23 区では 9 区で導入しているが、導入があまり上手く進んでおらず実績が少ないため、そういった状況を考えながら検討していきたい。

答 ④新たな都の支援事業や国の調査内容を十分に加味しながら前向きに検討していきたい。ニーズ調査については国が実施した精度の高い

調査結果があるため、それを十分見ていきたいと考えている。

問 プレーパークの必要性や設置・増設・整備を行うことについて、区長の考えは。

答 プレーパークの有用性は非常にあると思っている。本区には公園がたくさんあるため、既存の公園を積極的に使ってほしい。また、公園がこれからコミュニティの場になっていけば良いなと考えている。

問 区として命の学習、大人になるための学習、虐待防止の観点からも「性教育」をしっかりと行う必要があると考えるが。

答 家庭、地域、専門の医師等との連携、意思確認を図りながら適切に行っていくべきであると考えている。

原則屋内全面禁煙 守ろう!! 自転車ルール



えどがわ区民の会
金井 しげる



問 中学生を主体とした災害時対応・防災意識を高める取り組みについて。

答 共助・公助の意識を高め、地域の防災を担う人材に育ってほしいと考えている。

問 受動喫煙対策について。

答 周知とともに更なる対策を進めていく。

問 大人に対する自転車のルールの周知・徹底の徹底、取り締まりを。

答 あらゆる機会を捉えて啓発を行っていく。

問 道徳教育・家庭教育について。

答 本区の持つ地域力を生かし、学校・家庭・地域が一体となって取り組んでいく。

「気候非常事態宣言」「子どもの権利条例」について



生活者ネットワーク
伊藤 ひとみ



問 気候変動について。

①災害が頻発する今「気候非常事態宣言」を。

②「RE100」の実現に向けての計画は。

③「小規模目的別地方債」についての考えは。

答 ①計画には宣言の内容と同様のことがある。

②支援の研究と区民施設への導入を進めたい。

③区債ではなく区民の参画意識の醸成を図る。

問 「子どもの権利条例」について。

①子どもの参加の実現と啓発については。

②「子どもオンブズパーソン制度」の導入を。

答 ①方法について具体的に詰めていきたい。

②実効性ある方策をこれから詰めていく。

直面する区政課題解決に向け一丸となった取組を!



立憲クラブ
笹本 ひさし



問 不登校特例校について。

答 不登校で悩む生徒・児童や保護者にとって教育を受ける上での選択肢が広がるものとなる。専門的な知見を活かすため連携を図る。

問 なごみの家でワンストップ機能の強化を。

答 新庁舎建設に向けて今後の行政サービスを考える中で、あわせて検討していく。

問 紫烟草舎の本区への移築について。

答 今までもこれからも続く市川市との付き合いの中で、話し合っていきたい。

問 医療的ケア児支援について。

答 ケースバイケースで丁寧に対応したい。

都市農業の重要性と江戸川区の福祉事業について



無所属
田島 寛之



問 本区における都市農業のあり方について。

①都市農業の重要性について、区長の考えは。

②GAPの有用性と今後の展開について。

答 ①農業は本区の伝統・誇るべき文化である。今後も農地を守り、農業の振興に努める。

②非常に有用である。東京2020大会後もGAP取得への働きかけを継続していく。

問 高齢者福祉問題について。

①介護人材に関する課題について。

②介護施設の建て替えの問題について。

③介護予防について、区長の考えは。

答 ①介護職員の定着策や人材掘り起こし策をこれからも効果的に展開していきたい。

②区有地の活用について事業者から相談があれば、協議をしていきたい。

③要介護1・2の方に対する生活援助サービスの総合事業化について、全国市長会の提言において「拙速な検討は避け、慎重を期すること」と要望しており、十分に議論がなされるべきと考えている。

問 障害者の親亡き後の取り組みについて、区長の考えと今後の展望は。

答 親亡き後も区内で過ごしてもらうため、区としてしっかり取り組んでいく。

道徳教育推進と地域コミュニティの活性化を



自由民主党
しかくら 勇



問 教員の働き方改革と道徳教育推進について。

①教員の負担軽減のための人員雇用にどういった姿勢で臨んでいくのか。

②道徳教育推進に向けたどのような教育が必要と考えるか。

答 ①本年度からスクール・サポート・スタッフの全校配置や部活動指導員等の配置を行い、業務の適正化や勤務環境の改善等も進めている。今後も教員の長時間勤務の是正と学校教育の質の確保に向けて必要な人員の配置も含め取り組みを進めていく。

②考え方は人それぞれ異なり、また立場が変われば考えも変わるということを学ぶことにより、相手を思いやる心、認め合う心が養われる。こういった考えのもと道徳教育を進めていくべきであると考えている。

問 防災と地域コミュニティについて。

①防災ボートの配備と活用方法について。

②地域での避難訓練の実施状況について。

答 ①一次避難所、区役所、区民館に計106艇配備する。主な用途は医療機関への搬送や救助などである。様々な連絡手段としても使用でき、車椅子も乗る形になっている。

②地震と水害では行動パターンが異なるため、

ハザードマップの説明会等で両者の違いについて丁寧に説明している。地域の訓練や避難所運営協議会においてその違いをしっかりと説明し、理解を得ていきたいと思っている。

問 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした地域産業のアピールについて、これまでの取り組みと今後の展望は。

答 これまで商店街、ものづくり産業、農業、伝統工芸などの分野において地域産業の活性化を行ってきた。今後もイベント等により区内産業の更なる活性化を図っていきたい。

問 平井駅北口再開発事業への意気込みと、いったん退去いただいた住民の皆様が自然な形で平井地域に戻ることにのケアについて。

答 平井駅にランドマークができるんじゃないかと思っている。権利を持っている方がスムーズに生活再建できるよう組合に丁寧な対応を求め、この事業をバックアップしていく。

新型コロナ感染拡大防止策と相談・医療体制の強化を!



公明党
竹平 ちはる



問 感染症対策について。

①新型コロナウイルスの感染症対策の強化を。

②風しん対策の更なる取り組みを。

答 ①区と都を合わせて24時間体制で相談を受けている。関係機関と連携し、適正な対策と情報発信を引き続き進めていきたい。

②抗体検査の受検率向上が不可欠である。働く世代が多いため、職場での理解促進に努めていかなければならないと考えている。

問 食品ロス削減の更なる取り組みについて。

①本区における食品ロス削減推進計画を策定すべきと考えるが、区長の考えは。

②フードドライブの常設と区内で循環する仕組みづくりについて、区長の考えは。

③災害備蓄食料更新にあたっての活用について。

答 ①国の基本方針が出てきた段階で、区としての推進計画を作る形で進めていきたい。

②えどがわエコセンターで実施を予定。

③地域の防災イベント等で周知啓発のために配っている。ご理解いただきたい。

問 新規事業の長期育児休業支援補助について。

①事業の概要と狙いについて、区長の考えは。

②子育て環境の充実につなげるため、区内業者と保護者にどのように推進していくのか。

答 ①保護者のニーズに十分応え、寄り添う環境を作り、家庭療育という選択肢も選べるような環境を作ることが必要だと考えた。待機児童対策に一石を投じるものである。

②区内業者に協力を求め、一層理解を深めてもらえるよう努めていきたい。

問 少子化対策の一環としても、不妊症・不育症への支援を更に進めるべきと考えるが。

答 悩んでいる方に寄り添いながら、支援を行ってきたい。

問 不燃化事業の課題と今後の取り組みについて、区長の考えは。

答 引き続き専門家の派遣や啓発セミナー、高齢権利者への支援等をしっかり行う。

予算特別委員会

予算特別委員会は、2月25日から3月10日までの間の8日間にわたって、一般会計と3特別会計の予算案について、審査を行い、広範にわたり詳細な質疑が行われました。

委員会での審査を踏まえ、3月25日の本会議で採決の結果、令和2年度一般会計予算案と国民健康保険事業、介護保険事業及び後期高齢者医療の各特別会計予算案は、賛成39・反対4でそれぞれ原案のとおり可決しました。

なお、委員会に一般会計予算、国民健康保険事業特別会計予算についての修正案が提出されましたが、否決しました。

予算特別委員会委員 (◎委員長○副委員長)

◎ ふじさわ進一	白井正三郎	大橋みえ子	小俣のり子
○ 中道たかし	牧野けんじ	金井しげる	セバタ 勇
よ ぎ	神尾てるあき	笹本ひさし	伊藤てる子
小林あすか	岩田まさかず	中津川まさあき	竹内すすむ
本西みつえ	間宮 由美	ます 秀行	早川 和江
伊藤ひとみ	佐々木ゆういち	くぼた龍一	島村 和成
斉藤つばさ	竹平ちはる	大西 洋平	
しかくら勇	栗原ゆたか	高木ひでたか	

委員定数 20人 (委員の途中交代あり)



予算特別委員会の様子

令和2年度予算に対する各会派の意見

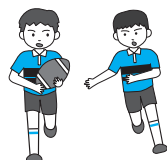
自由民主党 (賛成)

本区の予算編成は、区債残高を5億円にまで減らすなど、将来世代に負担を先送りせず、健全財政を堅持する取り組みを進めてきた。斉藤区長が編成する最初の予算案は、誰もが安心して暮らせる街の実現のために様々な施策を展開するものであり、区民の立場に立った予算案であるかを重点に真摯に審査した結果、令和2年度一般会計並びに各特別会計予算案に賛成する。

[主な要望]

- 森林環境譲与税は用途が明確に決まっている。今後の学校改築や新庁舎建設の際に木材に囲まれた暖かみがあり落ち着く空間を。
- 青森大学東京キャンパスの卒業生が本区で起業できるよう支援体制の確立を。
- 東京パラリンピックを契機に障害者スポーツの気運醸成を。
- 南魚沼市と友好都市盟約を5月26日に締結するが、台風シーズン前に災害協定の締結を。
- 児童文学館が継続して足を運んでもらえる施設になるよう引き続き努力するとともに、人を呼び込む視点についても重要視を。
- 現庁舎の跡地には地域住民の意見を取り入れた、中央地域の賑わいをなくさない施設を。
- 広域避難先の確保等の災害対策を。
- 共生社会の実現に向け、ボランティア支援の拡充と有償ボランティアの研究・検討を。
- 多目的なラグビー競技場施設の整備を。

ラグビー競技場施設の整備について



- マイナンバーカードの普及促進を。
- 建設業や運輸業、農業等の人手不足について、より効果的な施策・対策を。

- 既存の区民施設を活用し、オープン型宅配ボックス設置等によりCO₂削減を。
- 防犯カメラの設置について、地域からの要望があった際には積極的な対応を。
- 新型コロナウイルス感染症には、十分な警戒と対応が必要である。今後も万全な体制を。
- 口腔がん検診について、1年に1回受診できるよう変更を。
- 自殺防止対策について、新事業を含め総合的な観点からの取り組みを。
- 区内飲食店における受動喫煙防止の対策について、更なる周知徹底を。
- 引き続き特別養護老人ホームの待機者解消に向けた取り組みを。
- 放課後デイサービスについて、増設も視野に質の高い支援の提供を。
- 生活保護費について、不正受給防止の徹底とともに、受給者に対し積極的な自立支援を。
- 手話通訳の派遣メニューに電話リレーサービスの追加を。
- コミュニティ交通について、タクシーによるデマンド交通やタクシーチケットの配布も選択肢に含め、交通不便地域の課題の解消を。
- 多世代にとって魅力的な京成小岩駅周辺のまちづくりを。
- 東京メトロ東西線の葛西駅、西葛西駅のホームドア設置の早期実現を。
- 建物耐震補強について、2000年基準で建てられた住宅にも一定の条件を設けることを前提に助成制度を設け、更なる推進を。
- 民間賃貸住宅家賃助成費について、不動産業界の高齢者受け入れリスクを軽減できるような助成を。
- 上篠崎一丁目北部土地区画整理事業の推進を。
- より安全・安心で住みやすい本区の一躍を担う姿になるような公園を。
- 区内の高等学校と中学校の連携について、活用可能な教室の有効利用や相互の生徒間の交流等、密な連携も視野に検討・研究を。
- 学校給食費の改訂について、保護者負担の軽減措置を。
- 小中学校において指導主事の増員を。
- 民間委託による放課後補習教室の推進を。
- 特別支援教室におけるデジタルコンテンツの活用の更なる推進を。
- 不登校特例校の開設にあたり、児童の不安

を解消する体制の推進を。

○既存の小中学校や改築校において、補助金等を活用し校庭の人工芝化を。

公明党 (賛成)

SDGsの17ゴールに合わせた事業概要など、区民サービスの向上や地域発展に向けた積極的な予算編成を高く評価し、区議会公明党として、令和2年度江戸川区一般会計予算案と各特別会計予算案に賛成する。

[主な要望]

- 更なる歳入確保への努力とともに、健全財政を堅持しつつ時代に合った財政運営を。
- 多文化共生社会構築に向けて担当部署を明確にし、「江戸川区多文化共生指針」の策定を。
- 新庁舎建設用地について、一日も早く都から正式に取得、着実な推進を。
- 江東5区大規模水害対策協議会での異なる協議と事前避難の意識定着、防災行政無線の認知とFMラジオ等を活用した取り組みを。
- 新たな人権啓発センターの設置により、人権や平和への関連施策の更なる推進を。
- コミュニティ交通について、民間活用による生活拠点循環型の検討を。
- 区内ホームドア未設置駅への早期推進と葛西臨海公園駅高架下の整備促進を。
- 耐震化率98%の達成と計画の更なる改定及び事業対象を2000年基準まで拡大を。
- 屋外喫煙場設置で受動喫煙防止の推進を。
- 食品ロス削減について、常設回収の設置と流通の仕組みづくり、フードバンクの支援を。
- 平井・中央共育プラザの民間活用による多様な運営と「e-りびんぐ」による不登校対策の充実、葛西南部地域への設置を。
- 「東京パラリンピック22競技できる宣言」をはじめ、更なる障がい者スポーツの推進を。
- 本区の特産である金魚について、事業者への支援や「金魚まつり」等の更なる周知を。
- 特別養護老人ホーム待機者解消のため有料老人ホーム入居費用補助事業の区民への周知を。
- 介護・福祉人材緊急確保・定着奨励金事業により区内介護事業者の人材確保と定着を。
- 重症心身障害児支援について、働く保護者が短時間でも預けられる施設の増設を。



介護事業者の 人材確保と 定着について

- ひきこもり対策では、相談窓口の明確化や居場所づくり等、全庁横断の支援体制構築を。
- 「子どもの権利条例」の制定と普及啓発に、子どもの参画や意見を取り入れるように。
- ベビーシッター事業の早期導入を。
- 児童相談所の万全な体制での運営を。
- 新型コロナウイルス感染症の医療体制や正確な情報通信を。
- がん教育や個別受診勧奨等、がん検診受診率向上の着実な推進を。
- 不妊治療助成等の相談体制を図り、都の助成制度と合わせ更なる支援を。
- インターネット・ゲートキーパー事業及びピアサポーター育成事業の着実な推進を。
- 緑化運動 50周年を通し更なる啓発を。
- ICT環境の整備拡充とGIGAスクール構想実施に向けた着実な準備や支援員増員を。
- 特別支援教室において、全教員や各機関が連携し、生徒の特性に合わせた指導・支援を。
- 学校給食費の保護者負担軽減の継続と多子世帯への補助を。
- 放課後補習教室の導入について、学習に不安を抱える全ての児童・生徒に支援を。
- 不登校対策について、教育機会の確保等のため全庁をあげたガイドラインの推進を。
- 認知症対策として、正しい理解促進と早期発見・診断・対応に努めるとともに、医師会と連携した「認知症あんしん検診」の推進を。

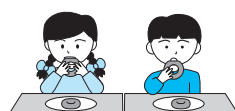
日本共産党(反対)

新年度予算案は区民の福祉増進に役立つ事業もあるが、区政に納得できない基本的問題点があり、一般会計及び各特別会計予算案に明確に反対する。

[主な反対理由]

- 防災ラジオの現実的な普及の提案に対し、「ラジオだけに公費を使うわけにはいかない」と拒否する姿勢。安価で信頼できる耐震シェルター等の補助を否定し続けることは災害対策への積極的姿勢があるとは言えない。
- 完成の見通しも治水上の効果も示すことができないスーパー堤防とまちづくりとして区画整理を一体で施工する事業について、住民の理解を得られておらず、こうした事業を止めない姿勢は容認できない。
- 消費税増税やマイナンバーカードの推進、羽田空港新ルート容認の姿勢、都立病院独立行政法人化に対して都の言い分をそのまま受け入れる姿勢等、国や都の施策に対し区民生活を守る立場を示さないこと。
- 直接雇用した教員による補習教室実施をせず、23区で唯一、学校図書館司書の全校配置をしていないこと。1年単位の変形労働時間制の導入反対の姿勢を示さないこと。全てのすくすくスクールへの正規職員の配置や補食の提供を区の責任で行うことを検討すべき。

すくすく スクールの 補食について



- 国民健康保険料について、保険料引き下げに應える姿勢がみられないこと。
- 介護保険について、高齢者負担増、要介護外し等も「持続可能こそ」と反対せず。
- 後期高齢者医療制度について、保険料の値上げや短期保険証発行を続ける姿勢。

江戸川クラブ(賛成)

新規拡充事業がふんだんに盛り込まれた「将来を見据えた予算案」である令和2年度予算案に賛成する。

[主な要望]

- 庁舎移転事業における民間事業者と区の職員の接し方について、職員の心理的負担の軽減や事業を滞りなく進行するため、より厳格な手引きの作成を。
- 公共調達監視委員会について、公平・透明で競争性の高い入札契約制度確保のため、第三者による異議や苦情を申し入れる仕組みを。
- びよナビサービスをより多くの方に利用してもらうため、使い勝手の良さに更なる工夫を。
- 地域保健の中核を担う保健所の役割について、地域包括ケアシステムの牽引役として地域への積極的な働きかけを。
- ひとり親家庭の養育費不払い問題は子どもの貧困等につながる恐れもあるため、他自治体が行っているような養育費保証事業の導入を。
- 中高層建築物の紛争調停について、条例では適用対象となる建築物を指定しているが、住宅・建築トラブルの解決のため、更なる適用範囲の拡充を。
- 都県橋について、区長としての大きな権限を発揮しトップ同士による一刻も早い実現を。



都県橋について

- 核家族世帯が多い本区では他の家族の手助けが期待できない等、事情がある。学童クラブの時間を延長する等、実態に沿ったサービスの実現を。
- スクールソーシャルワーカーは学校側への報告義務と同時に守秘義務を負っている。相反する2つの義務を両立させるため、ガイドライン遵守の徹底を。

えどがわ区民の会(賛成)

効果的な財源の活用に大いに期待をし、令和2年度予算案に賛成する。

[主な要望]

- 防災活動に日々取り組んでいる消防団と地域の連携を推進する更なる仕組みづくりを。
- ポイ捨て禁止を周知する取り組みにもなるよう、街中でのスポーツゴミ拾いの開催を。



スポーツゴミ拾いの開催について

- 子どもの見守りを含む環境を良くする運動において、ボランティア活動参加者への共通アイテムとしてアームバンドの使用・普及を。

- 春江橋の早期架け替え工事の実現を。また、工事にあたっては地域住民への説明会や意見交換会を実施し、地域との合意形成を。
- 新川さくら館において、昔遊びの普及を。
- 学校教育において手品・マジックの体験を。

生活者ネットワーク(賛成)

人を大事にした施策の充実に鑑み、令和2年度予算案に賛成する。

[主な要望]

- 全学校で専門家を迎えた性教育の授業を。
- 平井・南篠崎共育プラザで行っている「赤ちゃんふれあい事業」を全中学校で実施を。



赤ちゃん ふれあい事業の 実施について

- 親子分離となる一時保護は、マイナス面も考慮し、十分な調査と丁寧な説明や対応を。
- 治水は危機管理である。スーパー堤防に固執せず、堤防整備の方法について再考を。
- 街の情報を持つ清掃職員について、10年以上退職不補充である正規職員の補充を。
- 福祉避難所は一次避難所と同時に開設を。
- 災害時のトイレの整備は、施設の既存のトイレでも利用できる固めるタイプの備蓄を。

立憲クラブ(賛成)

区民生活の安心と安全を願い、令和2年度予算案に賛成する。

[主な要望]

- SDGs導入のための職員や議会等への研修の実施を。定量的な評価の仕組みの導入を。
- ごみの捨て方の小冊子等で多言語対応はされているが、より簡易で易しいひらがな等の日本語によるインフォメーションにも配慮を。
- 子どもの精神科医不足に対し早急な対策を。
- 児童相談所について、児童福祉司42人を中心に万全の体制での運営を。
- 空き家の利活用について、有効な資産活用につながる内容には運営助成をしていく制度を。

空き家の利活用 について



- 日本語学級等の開催場所を増やし、区立学校に通わない子どもや保護者の参加も検討を。

無所属(賛成)

令和2年度予算案に賛成する

[主な要望]

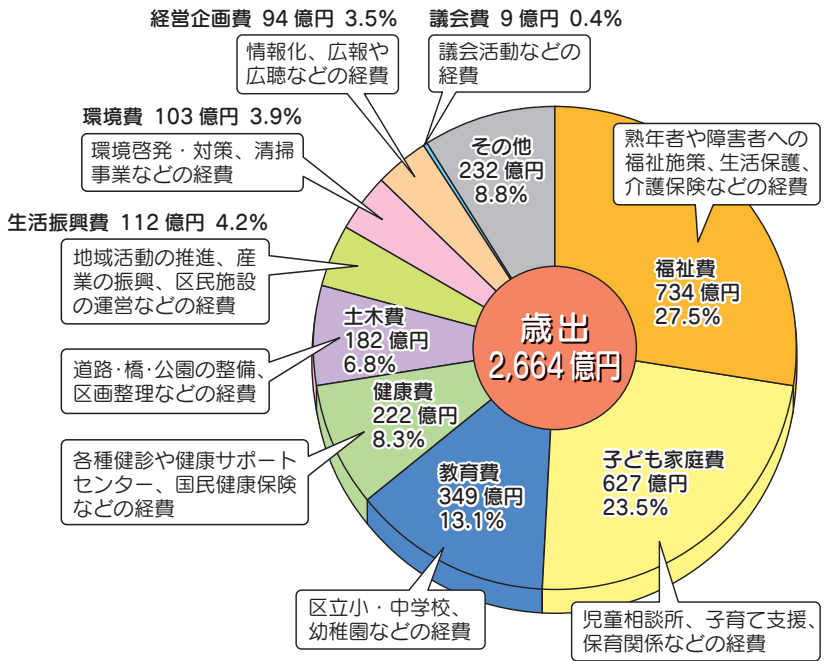
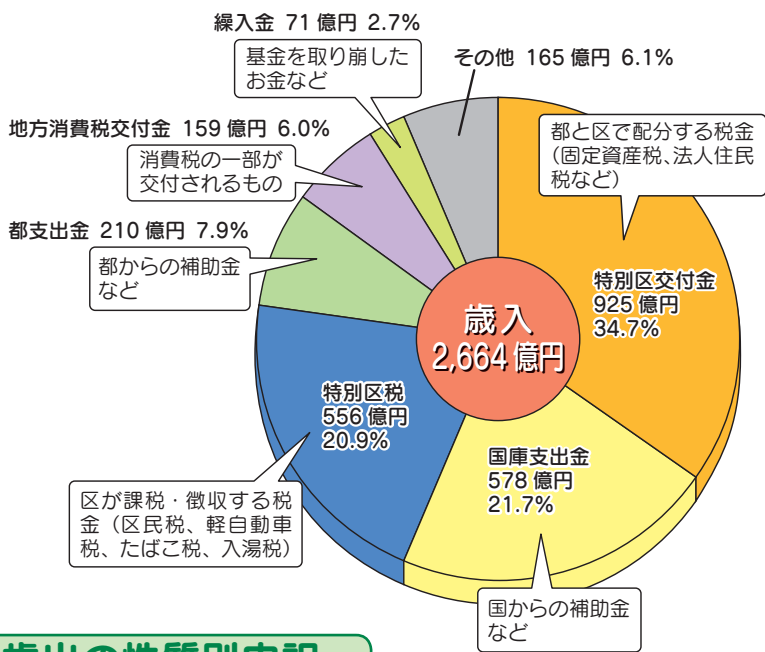
- Jアラート時に区民から情報を送ってもらい防災無線の聞こえの把握を。防災無線が自動で起動する「緊急告知ラジオ」の周知を。ペットとの同行避難のルール作りを。
- 適正な賃金や労働条件を定める公契約条例を。
- 不足している放課後等デイサービスの増を。

令和2年度予算の概要

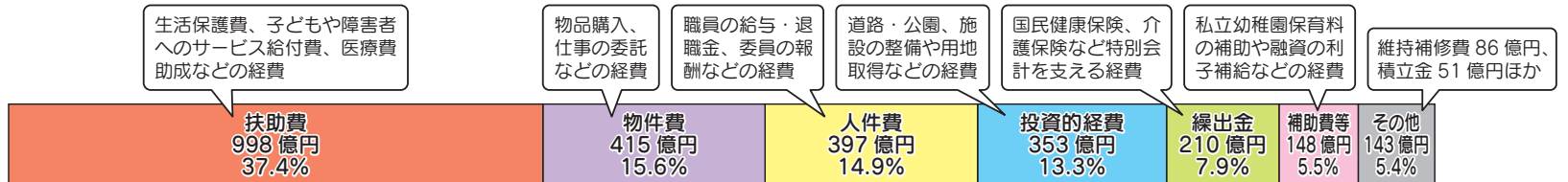
会計別予算の規模

区分	2年度	元年度	増減率
一般会計	2,664億2,568万5千円	2,471億7,741万3千円	7.8%
国民健康保険事業特別会計	607億4,644万8千円	618億9,091万3千円	△1.8%
介護保険事業特別会計	462億7,223万7千円	451億3,267万4千円	2.5%
後期高齢者医療特別会計	136億7,775万8千円	131億8,279万6千円	3.8%
合計	3,871億2,212万8千円	3,673億8,379万6千円	5.4%

一般会計予算



歳出の性質別内訳



金額及び構成比は表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります。

予算編成 3つのポイント

- 1 東京2020大会の成功とレガシーの構築
- 2 誰もが安心して自分らしく暮らせるまちの実現
- 3 SDGs (持続可能な開発目標) への取り組み

《SDGs※に基づく主な新規・拡充事業》

すべての人に健康と福祉を

特別養護老人ホーム待機者解消対策(新) 3,364万円
 発達相談・支援センター 2億6,601万円

質の高い教育をみんなに

長期育児休業支援補助(新) 3,500万円
 私立保育園保育委託 176億5,160万円

働きがいも 経済成長も

SDGs活動企業支援融資(新) 1,012万円
 保護者ニーズに合わせた保育ママ制度 4億6,109万円

産業と技術革新の基盤をつくろう

公用車両へのドライブレコーダー導入(新) 345万円

人や国の不平等をなくそう

東京パラリンピック22競技“できる”宣言!(新) 1,332万円
 手話の普及啓発 1,951万円

住み続けられるまちづくりを

避難所マンホールトイレの整備設計(新) 1,100万円
 姉妹都市等との交流 2,506万円

つくる責任 つかう責任

行事来場者数にビッグデータ活用 385万円

陸の豊かさも守ろう

校舎木造化実施検討(新) 979万円

平和と公正をすべての人に

児童相談所の開設(新) 46億9,586万円

パートナーシップで目標を達成しよう

広報えどがわのリニューアル 1億6,852万円

※SDGsは、2015年9月に国連サミットで採択された、持続可能な開発目標です。国際社会全体で、2030年までに持続可能な社会を実現しよう、地球上の誰一人として取り残さずに達成しようというものです。

区議会だより編集委員会

(◎委員長 ○副委員長)

◎大西洋平 ○竹内すすむ
 小俣のり子 中津川まさあき

滝沢やすこ議員に対する懲罰について

令和2年第1回定例会本会議において、懲罰特別委員会の委員長報告を受け、採決の結果、「出席停止4日間」の懲罰を決定しました。

※採決の結果 現員44人、議長、滝沢やすこ議員本人を除いた出席議員42人
 賛成34人(自民、公明、江ク、区民、立憲1、無所属1) 反対8人(共産、生ネ、立憲1、無所属1)